

暮らしとお金のお役立ちファイル

小林 育子 / キャリアカウンセラー
ファイナンシャルプランナー

● 社会人になってからの

大学・大学院進学

社会人として働いているうちに、もう一度、大学や大学院で学び直したいと考える人が増えていきます。大学院生の2割近くが社会人といったデータもあるとか。大学院で専門性の高い学問を学んで今の仕事をもっと深めたい、大学に入り直して分野を学び転職に結び付けたい、リタイアしてからゆっくり自分の好きな学問を学びたい——と、動機はさまざまですが、年齢に関係なく学びたいという意欲を持つのは、素晴らしいことだと思います。

入学には、もちろん試験があります。今さら受験勉強はムリとあきらめないでください。社会人特別入試といった形式で、現役高校生の大学受験とは違う負担の少ない入試形式を採用している大学・大学院も数多くあります。「常勤者として満3年以上の実務経験を有すること」など、社会人としての経験を高く評価する選抜方式などが一例です。ユニークな例では、社会保険労務士の

資格取得者が受けられる大学院の推薦入試も。人事・労務系の仕事をしながら、必要に迫られて社会保険労務士の資格を取得された方もいるでしょう。その資格と経歴が、大学院進学の道を開くこともあるのです。

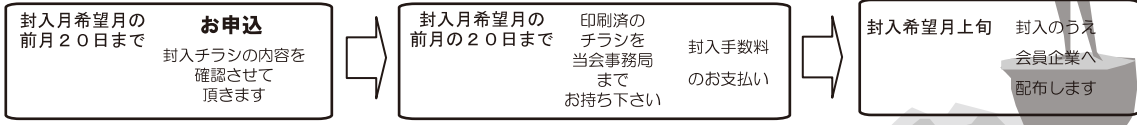
働きながらの通学を考えるなら、今の勤務と折り合いをつけて通学できるのか、学費を払えるかも要検討ポイントです。思い切って休職をする、夜間開講制の学校を選ぶ、勤務地に近い場所にサテライトキャンパスを持つ大学を選ぶなど、「通勤と通学」の両立にかかわる物理的な条件の検討は重要です。職場の上司、同僚、家族の理解を得る努力も欠かせません。大学・大学院となると、学費もかさみます。年間100万円前後の出費は覚悟したほうがよいでしょう。

シビアな話をしましたが、目的をもつての進学ならば、キャリアアップ、資格取得、学歴アップ、新たな人脈構築、視野の広がりと、そのメリットは相当大きいはずですよ。

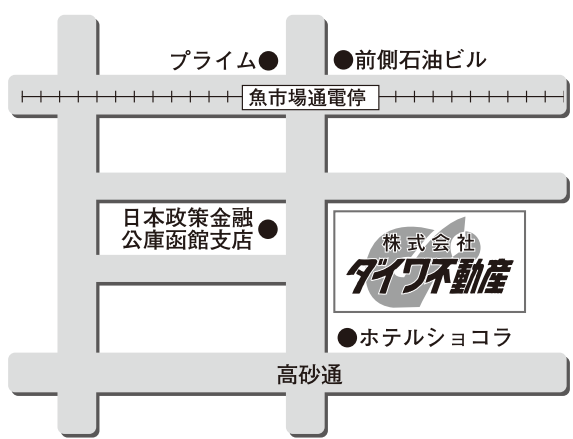
お店や会社の広告を広報誌に封入しませんか

当会では、広報誌「法人ニュースはこだて」を年11回、月刊誌として(2月号除く)会員等約2,000社へ配布しております。封入手料は下記の通りとなりますので、ぜひご利用頂きますようお願い申し上げます。

- 封入手数料 … 10,000円(税込)
 - 配布先企業数 … 約2,000社
 - チラシのサイズ … A4サイズ(両面可)
- (印刷済のものを持込んで頂きます)



詳しくは法人会事務局(54-9369)までお問い合わせください。



人と社会が共生する暮らしづくり



〒040-0064 函館市大手町1番3号
 TEL.0138-22-8133
 FAX.0138-22-6169
 E-Mail:daiwa@gray.plala.or.jp
 HomePage:http://daiwa.cbiz.co.jp/



法人会は会社経営の効率化のためにe-Taxの普及を支援しています。

さらに詳しくはWEBへ

イータックス

検索